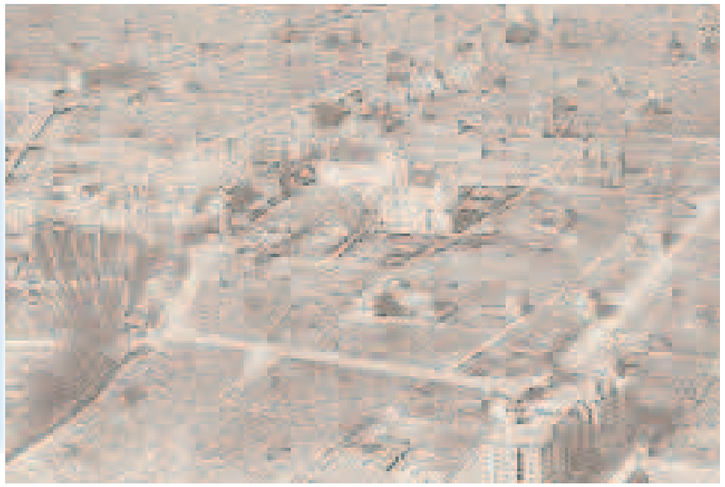
永久平和を願って 次世代に戦争体験を語り継ぎたい

私の戦争体験談 5

秘書広報課 ☎24-8801



大阪大空襲　1945年3月～8月14日まで8回行われた大阪市を中心とした空襲。一般市民1万人が死亡した。3月13日の初めての空襲には、グアム、サイパンなどから、274機のB29（大型爆撃機）が飛来し、焼夷弾などを投下した。

全て配給制、ひもじい生活

昭和十六年十二月八日、それまで支那事変であったのが、米国の真珠湾を攻撃して、嫌な時代に突入したのです。

それまでは、空襲も無く比較的静かな日々で、戦地の兵隊さんにも慰問袋を送ったり、千人針を作ったりできました。

その後は、日一日と物資が無くなり、都会に住んでいる者には、米、麦、砂糖、塩など生活必需品は全部配給制になり、布も木綿や絹物なども無くなり、スフと呼ばれた科学繊維しかなくだんだん暮らしにくくなりました。何もかも統制されていきました。

昭和一八年に長男が生まれて、その時に晒（さらし）一丈（三メートル）を、衣料切符で配給がありました。それで産着を作り、主人や自分の浴衣をつぶして、おしめや子どもの着物にしたものです。

野菜や卵も配給で、なかなか手に入らなくなり、主人が、故郷である香川へ帰り干しうどんを、姑に買ってもらい、トランクに詰めて持って帰ってくれました。それを小さく切ってお米と一緒に炊きご飯にして、何とか空腹をしのぎました。それも一時のこと、なかなか続かず、子どもを負って農村部へ買出しに行きました。大根やいもやその他の物は、なかなか分けてもらえず、大根の葉を分けてもらうのが精いっぱいでした。それをゆでて灰（あく）汁を抜き、雑炊の中へ入れて量を増やして食べるというありさまでした。

大阪大空襲 命からがら古里へ 平和がずっと続きますように

飯山町　山本　弘子さん

恐るべし空襲

昭和二十年三月十三日の深夜空襲警報のサイレンで、麻疹がようやく良くなった長男を抱き家の中の防空壕へ入り、真っ暗な中、祈るような思いでいました。しばらくして、主人が「中にいては危ない。早く外へ出よ」という声に、子どもを抱いて外の広場の防空壕へ飛び込みました。やがて、飛行機の爆音がして、まず、照明弾が落とされました。灯火管制なんのその、周囲は、昼のような明るさで逃げ惑う人も丸見えでした。

間もなく焼夷弾（しょういだん）が落とされ、一瞬の間に回りは火の海と化しました。気がつくと壕の中の人は皆飛び出し、入り口の人にも火がつき、私も慌てて飛び出しました。主人は焼夷弾の爆風で気を失っていました。私が呼ぶと気がつき、一緒に火の無いところへ逃げました。負う紐（ひも）とねんねこを持って出てくれていたので、子どもを負ってとにかく火の無いところへ逃げました。電柱も雑炊で並んだお店も立ったまま燃えていました。そのうち、飛行機も飛び去り静かになったので元のところへ帰りました。

我が家は無残にも焼きつくされ、残り火が燻（くすぶ）っていました。泊まる所も無くどうしようかと、思案していましたら、町内の焼け残った家に泊めてくださいましたが、身も心もクタクタでした。

千人針　多くの女性が一枚の布に赤い糸を縫い付けて結び目を作って、兵士の戦場での幸運を祈る民間信仰。

行く先々で受けた温かい心

夜が明けて大阪市内の姉の家に行くことにしましたが、地上の電車は駄目でしたが、地下鉄は動いていました。着のみ着のまま姉の家で二晩泊めてもらいました。

そして、香川県の主人の里へ行くことになりました。無一文でしたが、罹災証明をいただき、二十日には、召集令状が来ていたので、何としても帰らねばならず、朝六時に大阪駅まで行きました。大勢の人でしたが、召集令状が届いていたので、優先的に乗車できました。

鎧戸を降ろした汽車は、何度も止まり、岡山へ着いたときは辺りも暗くなっていました。そこで国防婦人会の人がおにぎりを作って配ってくださいました。朝からろくに食事もしていなかったので、むさぼるようにしていただきました。

宇野線に乗り換え連絡船で、高松へ着いたときは、ホッとしました。ここでも、うどん入りのおにぎりをいただき、琴平行きの汽車に乗りました。琴平に着いたのは十時ごろ、バスも無く駅長さんの計らいで、列車の中で一晩泊めてもらいました。三月十六日、まだ底冷えのする車内でしたが、朝まで、うとうとさせていただきました。朝一番のバスで、美合まで乗り、主人の里にたどり着いたときは、ホッとするとともに、これから先どうして生きて行こうかと思い悩みました。

召集令状　軍隊が在郷の予備役を召集するために出した令状。赤紙と表現することも多い。理由なく召集に応じなかった場合、罰金刑または拘留と書かれている。

二度としないさせない戦争

今思いますと、広島、長崎の原子爆弾の比ではありませんが戦争は絶対にしてはいけません。二度とこのような思いを、子孫にさせたくありません。この後、開拓団に入り、口には出せない苦労をしましたが、今は幸せです。

少し長生きし過ぎたようですが、命ある限り生きたいと思っています。今の平和がずっと続いていくよう祈っています。

丸亀市の市外局番 0877

梅雨・台風の季節到来
事前の準備と確認を

危機管理課 ☎25-4006

大雨による災害が心配される季節になりました。

災害はいつ発生するか予測できません。梅雨や台風などの増水しやすい時期に備え、事前に準備しておくことが大切です。お住まいの場所が洪水や土砂災害の恐れがあるか、あらかじめ確認しておきましょう。

●日常の備え

▶洪水ハザードマップなどで危険性の高い場所や避難場所を確認しておきましょう。

▶災害時の避難場所や連絡方法などを家族で話し合い、お互いに知っておきましょう。

●災害時の行動

▶テレビなどの情報に注意し、避難勧告発令時などには、直ちに行動できるようにしましょう。

▶夜間を避け明るいうちに避難するなど、安全な避難を心がけましょう。

▶緊急の場合には、頑丈な建物の２階に避難するなど、状況に応じた避難をしましょう。

●事前に情報の入手の準備を

▶災害や避難などの情報は県や本市ホームページで入手できますので、事前に確認しましょう。

▶ハザードマップは市役所の案内所や市民総合センターで受け取れます。

▶防災情報メールの事前登録をしておけば、気象情報や避難勧告などの情報がメールで配信されます。進んで登録しましょう。